

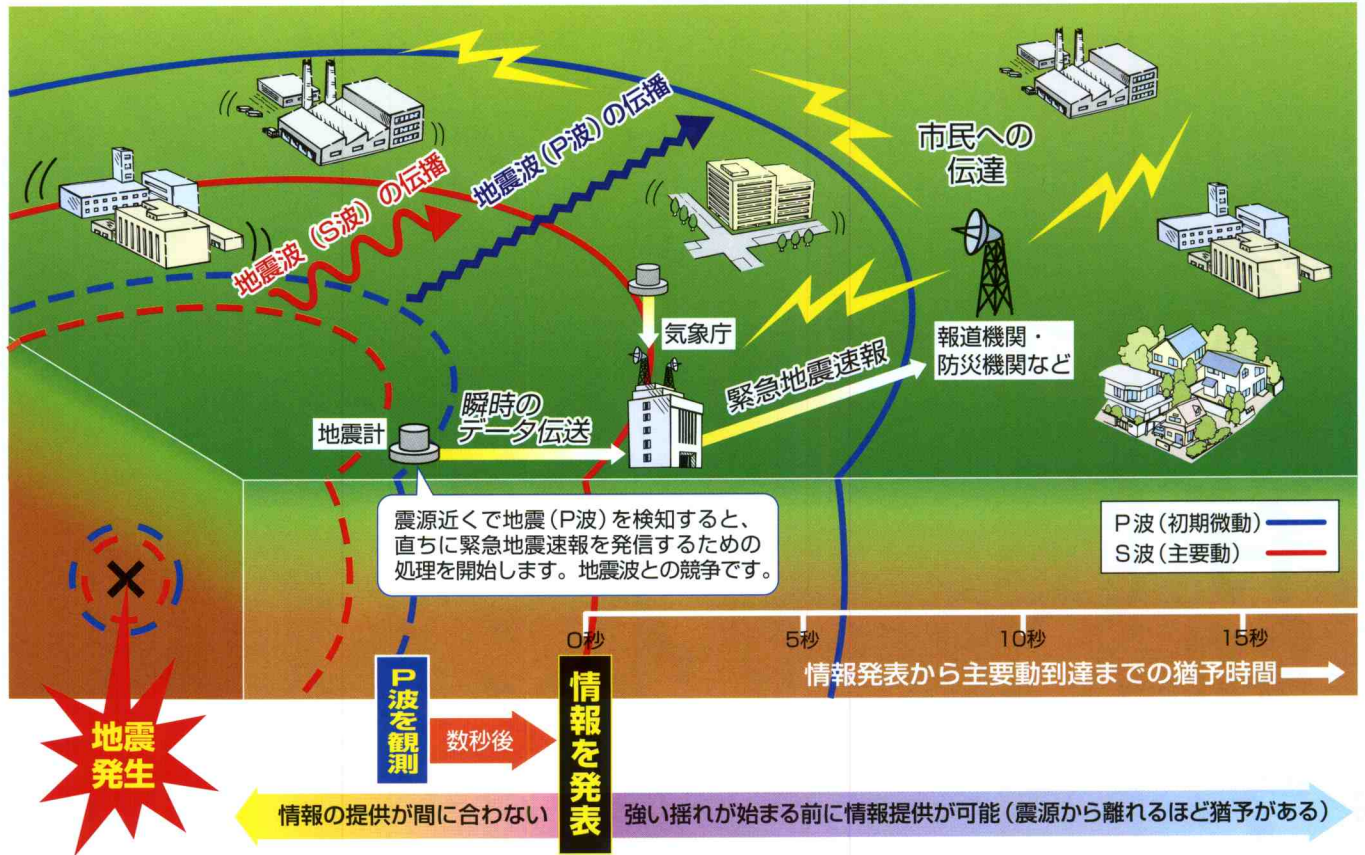
「緊急地震速報」 をご存知ですか？

それは地震からあなたを守る
新しい情報です

気象庁

緊急地震速報：なぜ揺れる前に地震の発生をお知らせできるのか

緊急地震速報の原理



○地震の揺れは、震源から波紋のように波(地震波)として伝わっていきます。

○地震波は主に2種類あります。P波(初期微動)とS波(主要動)です。最初にP波が伝わります。次に強い揺れのS波が伝わります。地震による被害は主にS波によってもたらされます。

<地震波が伝わる速さ>

P波(カタカタ揺れる波) 秒速 約7キロメートル

S波(ユサユサ揺れる波) 秒速 約4キロメートル

○「緊急地震速報」は地震の発生及びその規模を素早く知り、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、強い揺れが来ることをお知らせすることを目指す新しい情報です。ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

全国に配置した地震計(気象庁：約200箇所、独立行政法人防災科学技術研究所：約800箇所)を使って、地震の位置、大きさを瞬時に推定、予想される揺れの大きさ(震度)を推定

IT技術を活用し、素早くお知らせ(緊急地震速報)

どう使う

○緊急地震速報を有効に活用するためには、緊急地震速報を見聞きした際に適切に行動できるように「訓練」しておく必要があります。

<適切な行動の例>

- あわてず落ち着いて行動することが基本となります。
- ・家庭内：大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- ・集客施設：あわてて出口や階段に殺到しない。



「緊急地震速報」
強い揺れが来ます！
(揺れの予告)

気象庁は、「緊急地震速報」の家庭での利用などを検討し、できるだけ早期に広く国民の皆様へ「緊急地震速報」の提供を開始できるよう準備を進めています。

危険回避！



「緊急地震速報」についてのお問い合わせ

気象庁地震火山部管理課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号

電話：(03) 3212-8341 (代表)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>